

フラワー股ニテイ

星本祭矢

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

これはトイレを題材にしたお話、女のトイレ事情とはうつりにけりな悪戯。とにかくお股から発せられるお花から放たれる放物線はまるで芸術。そんな女性達はどんなトイレをするのか？

目次

第一話	トイレ芸術スタート	1
第二話	立ちションと女子	4

第一話 トイレ芸術スタート

○始まりのトイレ

女性の股間について取り上げるのがタブーな世の中。パンティすらダメなのにましてやトイレはNGであった。セクハラ案件強めであるがこんな危険な題材に対して、ウーマントイレアート協会という謎の団体が設立された。

それはセクハラ色かつ触れてはいけない乙女な部分に関して触れて、その芸術性を日本に広めようという団体である

しかし、この団体にたいして警察にマークされている。まさしく犯罪になりうる団体なのだ。犯罪と芸術は紙一重であり、行き過ぎた芸術は逮捕されるが、絶妙に絵になればリアルとは区別がつきにくいので逮捕されないことはある。

まさにこのラインこそがトイレ芸術である。

○ギリギリをせめる女達

まだルールがあまり整備されていない団体なもので、ぎつくり漏れるギリギリの芸術というラインが高得点を狙いやすい

そのせいか女性達は、かなりギリギリまでおしっこを我慢する人が激増した。

そのこともあり、トイレ運が悪いと、失禁するニュースがあとを立たない。

女性の失禁問題は個室である以上解決しにくい。なぜならアート極めるために以前より個室滞在時間が増えているため、トイレ行列が長くなっているからだ。本当にギリギリだと耐え切れず漏らすのが、早いと芸術としては弱い。しかし、失禁は減点対象故にかなりギリギリまで我慢する。

審査員はこの我慢するのも芸術ととらえているせいもあるのか、失禁80から90%くらいのタイミングで挑むものも少なくない。

○立ちシヨンの芸術

まさに女のおしつこの芸術は座りシヨンばかりフィーチャーされたが、少し経つと立ちシヨンも審査に含まれたのか、女性用トイレに小便秘器が備わる。

これはいかに美しく女が小便秘できるかという意図である。つまり我慢できないから普通に立ちシヨンという行為は厳禁なのである。

じっくり我慢して、所作もしっかりした美しい立ちシヨンできる女性が評価される。

この団体はその瀬戸際がわかるようだ。

立ちシヨン故に素の立ちシヨン成功する女性がおらず、立ちシヨン芸術には時代が早かったようだ。

○できていく芸術ルール

女のおしっこは花のようで美しい芸術のコミニティーはフラワー股ニティと命名された。

お股のコミュニケーション故に下半身事情がとにかく熱い。

立ちシヨンの練習や、我慢の調整、座りシヨンが美しく見える角度の練習を繰り返した。

おしっこ終わったあとのトイレットペーパーの使い方での魅せ方までこだわる女まであらわる。芸術要素が低い女性のおしっこは、記録されないのです、警察はギリギリ団体逮捕までにはいたらない。

しかし、危険ライン攻めていることには変わりはないので、団体は逮捕されないライオンで常に戦っている。

おしっここの戦いはまだ始まったばかり。

女性達のおしっここの探求はこれからクオリティがあがっていく。

次回に続く

第二話 立ちションと女子

○立ちション広がる世の中

まさしく女が苦手とする服のまま立つてなるコントロール性だが、意外とその採点ルールも増えてきて、次第に立ちションできるどころか、芸術点とれる女子も増えている。

採点基準は複雑になり、クリをどうしているか？も採点されやすくなった。

とにかくクリボツキがわかってなんぼの芸術故、失敗したら失点わかってても、挑戦し続ける女達に次第に立ちション文化が広がっていく。

○クリを慣らしていく女達

とにかく難易度高い立ちション成功するには男同様クリに近いところから発射する方が成功しやすい。

クリを出来るだけつまんで可能な限り男に近い形にしようとする女だが、やはり尿道つながってないせいとか、つまんでる隙間からおしっこが垂れれてしまいうまくいかないケースが後をたたない。

通常のクリトリスではあまりにも男性サイズとは程遠く、失敗しやすい。

そんな中、でかいクリトリス持ち女性はわりとうまく行きやすいせいか、立ちシオンでそれなりにうまくいくケースが多い。

デカクリさんケースはつまんでうまくいくテクニクが出てきたのかだんだんボツキ訓練が増えていく。

ボツキ訓練で失敗するケースは多いものの、一部の優れた女はクリボツキ訓練から、ボツキしたら立ちシオンすることに成功する。

服着たままのクリボツキ立ちシオンはかなり難易度が高く、その女はかなりのハイスコアがでてしまう。

○尿道手術をしてしまう女

クリボツキで立ちシオンが難しい女の中に立ちシオンしようと尿道接合手術で成功する層が増えだした。

当初はセーフだが、やはり協会は手術勢は良く思わないらしく、補正で減点されてしまい、改造勢は尿道接合をきる手術をしていた。

ナチュラルを求める協会故にナチュラルタイプになろうとする女達。

テストステロン効果さえ禁止にされて難易度あがり、座りシオンで数増やして得点稼ぐ人多いが、数稼いでいる女達はトイレいく期間が短いので長時間耐えられないようになり、度々失禁が増える社会問題と化した。

社会問題解決するためにオムツを履く人や、ペットボトルに避難させるのがいくらかいるがそれもまた、逃げに近い手なのか協会サイドは減点対象とみなしているので、減点女は後を立たない

まさしく失禁ギリギリをとるか、数少ないけど綺麗な放物線とるかの戦いは始まったばかり

働く女のような人ほどトイレを我慢する。それはいよいよ、トイレ芸術が給与に影響しだしているようである。

果たして女達はどうなるか？

つづく